

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

同朋大学 実施報告書



実施主体 井上薫4年ゼミ、3年ゼミ

実施内容 大学祭での出店・展示・アンケート(4年ゼミ)

高校への出張授業(3年ゼミ)

①事前に取り組んだ内容

【4年ゼミ】3年次に取り組んだ「学生によるオレンジリボン運動」の報告書を作成。

※「学生によるオレンジリボン運動」の取り組み～高大連携授業(報告)、『S 学会ジャーナル(同朋大学社会福祉研究)』別冊、1-8、2025年3月発行

学内だけではなく学外の方々にオレンジリボン運動を知ってもらうための活動を検討した。施設サービスや地域食堂などに取り組んでいる株式会社寿々とコラボし、学園祭へのキッチンカー出店と展示の打ち合わせを行った。

【3年ゼミ】高校への出張授業

- ① オレンジリボンの活動について詳しく調べ、ゼミ内で理解を深める。
- ② 高大連携授業のパワーポイントを作成する。
- ③ グループワークのための事例作成を行う。
- ④ リハーサルを行い、事例とパワーポイントを改良する
- ⑤ アンケートやオレンジリボンなどの配布物を作成する。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

【4年ゼミ】キッチンカー前で、焼きそば、から揚げ、ポテトフライの販売を宣伝した。オレンジリボンを配布し、子ども虐待やオレンジリボン運動についてついでにのポスター展示と説明を行った。「オレンジリボン運動の認知度」のアンケートを行った。当日参加者は215人。

【3年ゼミ】同朋高校に依頼をし、高校三年生を対象に授業を行った。2024年12月9日(月)の1時限(8:55~9:45)に実施し、当日の出席者は56名。内容は、①あいさつ、②子ども虐待の4つのタイプの説明、③しつけと虐待、④虐待を引き起こす要因、対応、⑤グループワーク(用意した2事例を用い「どのタイプの虐待か」「受講生はどんなことができるか」などを話し合い、全体に発表する)、⑥オレンジリボン運動について、⑦感想のアンケート、からなる。

③オレンジリボン運動を終えて…

【4年ゼミ】(写真1~3)

今回の学祭では、2年間にわたって取り組んできたオレンジリボン運動について、多くの方に知っていただく貴重な機会となった。オレンジリボン運動は、児童虐待防止のメッセージを広め、社会全体で子どもたちを守ろうという意識を共有することを目指している。そのため、展示やチラシ配

写真1 オレンジリボン認知度



りを通して、来場者の方々に「子どもたちを守るために私たちに何ができるか」を考えていただけるよう工夫した。

寿々には、キッチンカーでの出店で盛り上げて頂き、私たちの「オレンジリボン運動をより多くの人に知ってもらいたい」という願いを叶えることができたと思う。

今後も児童虐待防止のための啓発活動を続けていくことの大切さを改めて感じ、さらに多くの人々にオレンジリボン運動を広めていきたい。

【3年ゼミ】(写真4、5)

生徒へのアンケートからは、「正しい知識が広まれば、相談するという選択肢ができる子が増える」「被害にあっても対応できる知識をつけようと思いました」「学生の人と普段関わる機会がナノで、授業に参加できてよかった」等の声を聞くことが出来た。が多かった。

実施したゼミ生の学びとしては、「グループワークや発表で高校生たちが積極的に意見を出してくれたり、自分事として考える姿があり、やりがいを感じた」「高校生の皆さんは、朝早いにもかかわらずとても熱心に授業を聞いてくださったのでこちらもやりがいを感じました」などがある。準備や時間配分、プレゼンの仕方などとともに、わかりやすく、しかも積極的に参加してもらえる授業づくりについて、多くの学びがあった。

写真2 キッチンカー



写真3 スタッフ



写真4 高校での授業(1)



写真5 授業での配布物

